

新居浜市地球高温化対策地域協議会 平成27年度総会記念環境学習講座

ごみはステキな魔法つかい ～ロンドンオリンピックに学ぶ「イベントごみゼロ」の取り組み～



日 時： 6月27日（土）15：00～16：00

場 所： 新居浜市市民文化センター中ホール

参加者： 220名

生活環境評論家

講 師： 松田 美夜子（まつだ みやこ）

<講師紹介>

国の審議会委員として「廃棄物処理法」「容器包装リサイクル法」「家電リサイクル法」等の制定に関わってこられました。また、地球温暖化問題、環境税などのプロジェクトにも参加され、循環型社会のシステムづくりに貢献されてきました。その後も、富士常葉大学環境防災学部准教授、同大学教授、同大学図書館長、内閣府原子力委員会常勤委員を歴任されました。現在は、国内、欧米のリサイクル問題のエキスパートとして、講演、執筆、またテレビやラジオのコメンテーターとして多方面でご活躍されています。

牛乳パックのリサイクル

牛乳パック5枚⇒トイレットペーパー1個
(1巻のロール 60m)

牛乳パック1キロ30枚⇒トイレットペーパー5個

ペットボトルのリサイクル

年間の生産量 58万トン（2013年）
500ml（28g）に換算 203億本

例：紳士用夏物Yシャツ⇒500mlのペットボトル5本



スーパーマーケットのオリンピック後の売り場



講座受講後の感想(抜粋)

ゴミが資源だということがよくわかりました。資源ゴミ以外は有料でもいいと思えるようになりました。これからのゴミをあまり出さないようにしたいです。とてもためになった話でした。ありがとうございました。この30年は生ゴミは出したことはありません。

新居浜市のこれからできること。ごみの有料化、雑紙(小紙片)の回収、ゴミを出さない暮らしの実践！牛乳パック5枚でトイレットペーパー1巻、ペットボトル5本で半袖ワイシャツ1枚。

具体的に話が進み、とても興味深く聞くことができた。一人一人がゴミを出さない工夫が不可欠と痛感した。知らない取り組みの話が多く勉強になった。

ゴミ分別の大切さ、基本理念が良く理解できた。ゴミをリサイクルし、資源にする大切さ、よくわかった。ゴミ箱もカラフルにするとなさくなる。自治会でも導入できそう。ゴミの有料制度は反発ありそう。取り組みは賛成。

小紙片のリサイクルはとても良いと思いました。資料がなくても全然よかったです。地球温暖化を進めていかないように我々若い世代が知識を深めていかなければ、と思いました。

具体的でわかりやすかった。愛媛国体などにあわせて話してくれたので興味深かった。

愛媛国体なんて選手じゃないしお世話係でもないしと思っていたけど、何か役に立つことがあると思った。

具体的にトイレットペーパー1ロール牛乳パック5枚とか、やらなきゃという気になった。

若々しい松田先生のパワーで元気になりました。これからもゴミについて真剣に考えていきます。

「住民参加」という言葉を浸透させる教育が大切。実際に手伝うこと、参加することで協力し合うことを体験する。この体験が増えることで「お客さん」だから何をしてもいいという考えや行動が、私は「運営の一員」という見方に変わり、行動も変わる。チーム意識を持つために、ユニフォームTシャツ、CMのためのアクセサリを身につける(それを見た人がわかる広報も必要)。